

授業科目名	データヘルス	(英語名)	データヘルス
科目区分	関連教養科目	対象学生	看護学研究科 看護学専攻博士前期課程
単位数	2.0単位	開講年次・学期	1～2年次：前期
担当教員	八木 直美	所属	先端医療工学研究所
授業の形態	講義	関連するSDGs目標	目標3/目標4
ハイアワー・場所	随時・先端医療工学研究所またはオンライン	連絡先	naomi@ame.u-hyogo.ac.jp

対応するディプロマ・ポリシー(DP)	【学部・研究科】	
対応するディプロマ・ポリシー(DP)	【全学DP】	
対応する教職課程の学修目標		

講義目的・到達目標	<p>【講義目的】 データヘルスとは、国の成長戦略として医療情報（レセプト）や健診結果の情報等のデータ分析に基づき、国民の健康寿命の延伸を目的に PDCA サイクルで効率的・効果的な保健事業を実施する取り組みである。データヘルスにおけるデータの信頼性・整合性を確保するデータマネジメントとその重要性について理解し、データから現象を可視化するためのアプローチに関する知識、技術を習得する。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. データを使って現状とその背景・課題を明確にできる 2. 効果的なデータの分析や分析結果を読み解くことができる 3. ビッグデータとアルゴリズムによる分析結果をもとに、データヘルス計画のための意識決定や課題解決に繋げることができる
授業のサブタイトル、キーワード	キーワード：データヘルス計画、PDCA サイクル、医療統計、データ分析
講義内容・授業計画	<p>【講義内容】 【授業計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. データヘルス計画の概要 ○データヘルス計画において下記を講義する 2. 医療制度 3. 医療情報 4. 健康情報 5. 保健事業と保健指導 6. 医療統計学 7. 医療データ分析 8. 健康課題と支援 ○PDCA サイクルにおいて下記を講義する 9. 評価指標 10. 要因分析 11. 介入戦略のための予測 12. 介入戦略のための予測結果の適用範囲 ○グループワークにおいて下記を講義する 13. 事例調査グループワーク 14. 活用アイデア検討グループワーク 15. プレゼンテーションと討議
テキスト	必要な時に資料配布
参考文献	なし
事前・事後学習（予習・復習）の内容・時間の目安	<p>【予習】 講義に使用するテキスト、資料の事前読み込み（15回、計15h）</p> <p>【復習】 レポート作成（13回、計13h）、資料作成（2回、計2h）</p>
アクティブ・ラーニングの内容	グループワークを取り入れる。学生同士のディスカッションを行う。
成績評価の基準・方法	<p>【成績評価の基準】 データヘルスに関する知識を理解し、データ分析から解釈を通してデータヘルスの計画のための提案ができる。</p> <p>講義目的・到達目標に記載する内容の到達度に基づいて、S（90点以上）、A（80点以上）、B（70点以上）、C（60点以上）の成績評価のうえ、単位を付与する。</p> <p>【成績評価の方法】 定期試験は実施しない。レポート課題およびプレゼンテーションを100点満点で評価する。</p>

	これらの平均点を基準として、積極的な質問等の受講態度を含めて総合的に評価する。
課題・試験結果のフィードバック方法	レポート課題において、優れた内容のものを講義内で紹介しながら講評する。
履修上の注意・履修要件	授業欠席の際には、氏名および日付がわかる以下のいずれかの書類を提出のこと「診断書、病院の領収書（コピー可）」確認後、返却する。
実践的教育	該当する データヘルスを実践する教員の講義を含む。
備考	なし